キャラクター名: レルド＝エンドルド

プレイヤー名:

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	密偵	性別	男	年齢	26
冒険者Lv	6	経歴	同じ夢を何度も見ている		
経験点	1500		大切な人と生き別れている		
			近所に芸術家が住んでいた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	16	器用度	3	3		22 + 2	4
		敏捷度	5	3		24	4
体	7	筋力	10	1		18	3
		生命力	11	1		19	3
心	4	知力	12	4		20	3
		精神力	6	2		12	2

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	6		
スカウト	5		
セージ	3		

戦闘特技			
トレジャーハント	2120p		p
精密射撃	218 p		p
武器習熟A/ボウ	IB31 p		p
鷹の目	219 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語		○
魔動機文明語		○
魔法文明語		○
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	6	10	10	9

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザー		13		4
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能			合計値	0	4

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ラップドボウ 射程30m。 丈夫な動物の骨などで補強した弓。扱いにはちょっと自信がある。	2H	13		2d+ 10	10	10	28										
スリング 射程30m。普段は包帯の保護として太ももの辺りに巻いてある。	1H	2		2d+ 10	10	9	12										
インスタントボウガン 射程20m。一度使用したら壊れてしまう。包帯の中に隠してある。	1H	5		2d+ 10	10	0	15										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	24 m	72 m

回避	防護点
2d+ 0	4

HP
37

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 6	2d+ 9

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 9	2d+ 12

MP
12

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品		説明
頭	髪留め	集中するときに髪の毛を束ねるためのもの。
耳	うさぎのピアス	これを買ってから見つかることが少なくなった。
顔		
首	幸運のお守り	験担ぎのために買ったが、効果がある気がする。
背中	ハーフマント	闇夜に紛れる黒いマント。
右手	宗匠の腕輪	舌でさくらんぼのへたを結べるようになる。
腰	ベルト	ピッキングツールなどが挿してある。
足	サイレントシューズ	抜き足、差し足、忍び足。
その他		

装備品		説明
左手	宗匠の腕輪	結んだ髪の毛を解けるようになる。

その他メモ

レルド＝エンドルドは、ザルツ地方にあるシャドウの里に生を受けた。
彼の家庭に特筆することはない。彼の里にも、別に特別なものは何もなかった。
この世にいる大体のシャドウは、密偵などの暗い仕事をしているものも多い。
あるとき、この里出身のシャドウが1つヘマをした。
彼の情報は洗いざらい調べられ、「報復活動」が始まった。

15歳の頃、月の無い夜、レルドのいる里が蛮族による襲撃を受けた。
レルドは父親に叩き起こされ、母親と共に里を逃げ出した。
間に合ったのは、この里がシャドウの里だったからというほかない。
子供の将来を見越したシャドウの親は、自らの子供に夜道の行き方を、少しづつ教えていくのだ。
途中で母親とも別れた。「お前ももう成人だろ」と、母親は笑っていた。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟

キャラクター名
レルド＝エンドルド

プレイヤー名

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
スカウトツール	○□□○□□
筆記用具	○□□○□□
ポータブルカンテラ	○□□○□□
救命草x3	○□□○□□
ヒーリングポーションx3	○□□○□□
アウェイクポーション	○□□○□□
夜光塗料	○□□○□□
色煙	○□□○□□
包帯	○□□○□□
	○□□○□□
矢筒	○□□○□□
矢x3	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□